

北海道再生!!

一人に温かい道政

道政ニュース



高橋とおる

発行 2011年 冬～春 No.24号

高橋とおる事務所

自宅 函館市美原4丁目2番14号
TEL・FAX 47-0867



迎春

本年も宜しくお願い致します。

12月4日開業し東京へ向けて出発を待つ東北新幹線はやて号（新青森駅にて）

二〇一一年年頭にあたって

皆様には、新しい年を穏やかに迎えられましたこと、心からお慶び申し上げますと共に、平素のご無沙汰をお詫び申し上げます。あわせて民主党の政権運営について、大変ご心配をおかけし申し訳なく思っています。今年度は新年度予算も含めて民主党らしい姿を見せて欲しいものと思っております。

さて、昨年は道議会農政委員会副委員長として、戸別所得補償やTPP問題等に忙殺された一年でした。

これらはいずれも民主党政権が打ち出した政策ですが、多くの課題もあり、関係団体等からの要請を受け、農水省政務三役などへ度重なる要請活動も行っていました。

また、道立水産試験所の移転や北海道新幹線並行在来線問題、スケトウダラTACの漁獲量前倒しと期中改定等、水産関係にも力を注いだ他、フランチャイズ法制定に向け、会派のプロジェクトチーム事務局長としてコンビニエンスストアにおける問題点を洗い出すためコンビニオーナーへアンケート調査を実施し、『週間ダイヤモンド』特集記事として掲載されました。さらに今年の統一自治体選挙向けの民主党北海道マニフェストの原案も取りまとめました。

一方、高橋はるみ道政の二期目を見ますと、北海道の財政状況は悪化の一途を辿り、支庁制度改革は単に看板の掛け替えとなっただけではなく、多くの町村と道との関係を悪化させ、一方、得意とする経済対策の効果は一向に感じられませんが、また、函館にとつて重要な北海道新幹線並行在来線問題に至っては当事者としての意識が薄く、議会で

は欠伸と居眠りで、知事の姿勢を疑う場面が多々あり、この四年間の成果はせいぜい「米チェン」での北海道米の販路拡大くらいしか見あたりません。

さて、今年は二十一世紀に入って十年が経過し新たな十年に向けてのスタートの年です。この節目の年を新しい道政への「チェンジ」の年としなければなりません。

私も、引き続き「道政再生」の一翼を担うべく活動を強化してまいりますので、ご支援をいただいております皆様

の旧に倍するお力添えをお願いいたします。道議会報告とさせていただきます。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

北海道議会議員 高橋 亨

写真で見る高橋とおる道議の2010

2010年の活動を写真で振り返ってみました。あっという間の1年間であり、2期目の道議活動の総決算の年でもありました。

政権交代が行われ、民主党政権が進めようとする戸別補償制度やTPP等北海道に大きく係わる課題について農政委員会副委員長として奔走してまいりました。

また、地元函館の課題においては、北海道新幹線平行在来線問題、スケトウダラTACや水産基盤整備をはじめ、医療、福祉、中小企業の課題に取り組ませていただきました。

2011年以降もさらに活動の幅を広げ、額に汗して働く皆さんが報われ、弱い立場にある方々に政治の光があたるよう暖かい道政の実現に向け突き進みます。



自治体議員学会で北海道障害者の権利擁護条例について説明 (11/16 東京にて)



漁業の後継者問題をはじめとした課題調査のために漁業研修所を訪問 (7/15 鹿部町)



農業の戸別保障や口蹄疫対策について佐々木農水政務官(当時)に農政委員会副委員長として要請 5/13



この間の道政について報告する高橋道議 9/10



今年も参加した養殖こんぶの洗浄作業 (7/31 南茅部地区)



道南医療のみなさんへ北海道の保健・医療の考え方を説明 2/6



東北新幹線全線開通祝賀会に出席 12/4



第2回定例道議会で一般質問に向かう (6/17) 道議会本会議場



女性の地位確立に向け道政においても施策の確立を訴える。 3/8 国際女性デー



TPPに関して農林水産省への要請 11/15



農政委員会副委員長として道南の農業の実態を視察 6/18



世界遺産登録を目指す大船遺跡(南茅部)を視察 7/14

2010年高橋道議の本会議・所属委員会での質問等

第1回定例会予算特別委員会（10年2月17日～）

- (1)水産・林務部
 - 道立水産試験所と地域連携について
 - TACへの対応について
- (2)経済部
 - 今後の観光戦略と新幹線効果について

食と観光対策特別委員会（10年3月24日）

- (1)北海道アウトドア資格制度に関する基本構想について

第2回定例会一般質問（10年6月16日）

- (1)北海道新幹線札幌延伸に関わる諸問題について
- (2)HACと丘珠空港について
- (3)コンビニ強盗の発生件数と検挙数、予防について

食と観光対策特別委員会（10年7月21日）

- (1)HACを利用した観光戦略について

第3回定例会予算特別委員会（10年10月1日～）

- (1)総務部
 - ①北海道新幹線札幌延伸に関わる並行在来線について

(2)建設部

- ①HACの事業プラン（案）について

(3)経済部

- ①「北海道フードコンプレックス国際戦略特区構想」について
- ②道内観光における中国語通訳の養成について

(4)教育委員会

- ①子宮頸ガン予防ワクチンと接種する子ども達の理解について

食と観光対策特別委員会（10年11月24日）

- (1)北海道観光推進機構が申請した「インバウンド特区」について

第4回定例会予算特別委員会（10年12月3日～）

(1)保健福祉部

- ①北海道暴力団排除条例と公衆浴場について
- ②今後の地域医療について
- ③子宮頸ガン予防ワクチンについて

(2)総務部

- ①国家公務員の道への派遣について
- ②防災ヘリの運行について

第4回定例道議会で採択された決議・意見書

（ は政審発議、 は委員会発議、 は自民会派発議・民主会派反対）

- ◎北海道開発の枠組みの堅持と北海道局の存続を求める意見書
- ◎北海道の自衛隊体制維持を求める意見書
- ◎私立専修学校に対する財源措置に関する意見書
- ◎地域医療と国立病院の充実を求める意見書
- ◎脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める意見書
- ◎交通運輸行政の安全の充実を求める意見書
- ◎農林漁業用A重油に対する石油石炭税の免税等措置の延長を求める意見書
- ◎議員の位置付けの明確化及び都道府県議会議員の選挙区制度の見直しの早期実現を求める意見書
- 平成23年度米生産数量目標の見直しを求める意見書
- 北海道水産業の生産拠点となる水産基盤整備に関する意見書
- 国に対し万全の危機管理体制の構築を求める意見書
- 朝鮮高級学校の高校授業料無償化に関する意見書
- 子ども手当財源の地方負担に反対する意見書
- 仙谷由人内閣官房長官の辞職を求める決議

※「国に対し万全の危機管理体制の構築を求める意見書」以下の4件は、自民会派が提出したもの。民主会派は、その内容が、政権批判のみを目的とした、党利党略を地方議会の場に持ち込み政争の具とするものであり、道議会の権威、意見書・決議の権威を損ねるものとして反対した。特に、「仙谷官房長官に関する決議案」については、反対討論を行った。

高橋とおるホームページ開設中

高橋道議が活動の中で感じる道政等に関する想いについて記載しているブログや活動予定。さらには、活動状況について随時写真で報告してあります。是非ご覧下さい。アドレスは、

<http://www.t-tooru.com/>

